

下総玩具創設者 松本節太郎さん



まだまだ現役 「100歳の個展」

素朴な味わいのある手びねりを使った独特な技法の「下総玩具」創設者で今春、満百歳を迎えた柏市根戸の松本節太郎さんの作品を集めた「松本節太郎資料室」が、同市旭町の画廊の二階和室に開設された。また、記念展として二十三日まで同画廊一階ギャラリーで「松本節太郎の百歳記念個展」も開かれており、訪れた人らの目を引いている。入場無料。

柏に「資料室」開設

松本さんは、明治三十六年一月二十九日、東京・下谷の染色店の四男に生まれ、戦後、柏に移り住み、独学で粘土細工を作り続けてきた。

これまでに制作した下総玩具は千五百種、個数は数万個にものぼり、昭和六十三年四月には東京地域の文化・芸術分野に貢献した人に贈られる「第一回ヌーベル文化賞」を受賞している。

戸籍上の満百歳を迎え

なお現役で作品に取り組む松本節太郎さん

■ 柏市根戸の自宅

23日まで 手びねりの土人形300点を展示

た松本さんはギャラリー・ヌーベルの鈴木昇社長（五巴）に「後継者がなく、下総玩具」も一代限り。作品やその他の資料もすべて君に託すのでよろしく」と頼んだという。

これを受けて、鈴木社長は画廊の一部を「松本節太郎資料室」に改築。寄贈された八百点以上の作品は、制作年度、種類別に整理され、特別に公開されることになった。

一方、百歳記念個展は、約三百点を展示・即売しているが、鈴木社長は「十五日の敬老の日には松本さんも個展に顔を出してくれる予定。遊びたいことがたくさんある百歳だからすごい」と話している。

また、年齢について松本さんは「明治時代で父親は健康に育った三歳になったのを見届けて役所に出生届を出したため、本当は百三歳」と話し、ますます元気を振り披露している。